

## 団長の独り言

2月24日(金)「仕込み」

本番前日の仕込みの日、電車を乗り継いで朝8時40分に劇場に到着。

いつもなら仕込みの日は私も含め、メンバー達が朝6時過ぎに劇団倉庫に集合し、大道具、小道具、電子ピアノに受付グッズ等、2トンロングのトラック満載になるほどの荷物を約1時間ほどかけて積み込むところからスタートするのだが、今回は全員が午前8時45分に劇場集合となる。

何故そんな事が出来たのかといえば！道具類の積み込みは昨日の夜に行い、トラックにて積み置きをしてもらっていたからだ。

こうした事が出来たのも、昨日は祝日(2月23日：天皇誕生日)だったので、13時〜17時まで稽古を行い、稽古終了後、メンバー達は車3台に分乗し劇団倉庫へと向かい、舞台美術の三井さんの倉庫で積込まれた舞台装置の載ったトラックが到着するやいなや、みんな「それ〜！」ってな感じで倉庫内の道具をトラックに積み込み、トラックが翌朝劇場に来てくれるって段取りを組んだので、翌日、仕込みの日の朝は、倉庫には行かず、全員が劇場に集合するという事が出来たのだ。

当たり前だけど、寒い日の早朝に劇団倉庫へ集合すると、直接劇場へ行くのでは体力的に全然違う。

出来る事なら、毎回この方法で「前日積み置き」をしたいところではあるが平日の夕方に倉庫集合かぁ…：今はまだ無理かなあ…

ただ25年の歴史の中で一度か2度、平日の夕方に積み込みをして、その日の夜、劇場入りして仕込みって事をしたこともあった。

かと思えば、仕込みの日当日の朝、超早い時間にまずは大道具さんの倉庫で

舞台セットを積込んで、今度は劇団倉庫で道具類を積込んで劇場へ…何てことをやった事もあったよね。

そのもつ前は、レンタカーのトラックを借りて、私が運転をして倉庫での積み込みを行い、そのまま劇場入りなんてこともやったなあ。

そのまたもつ前は、なんと！本番の当日の朝、搬入、仕込みを行い、その夜に本番という…今の劇団ふぁんハウスの規模では考えられないような事も行った。

25年も続けていると、時々で色々な方法で仕込みの日を迎えたものですわ。しかし今回の「前日・積み置き作戦」が一番ベストだなあ〜って思う。

しかし現実問題として、課題はたくさんあるけどね…。

まあそんなわけで、「早朝の積み込み作業」から解放されたメンバー達が、午前9時には全員が劇場に集合し、開門と同時に、すでに到着しているトラックからの搬入を開始する。

赤坂区民センターという劇場は、いわゆる「搬入口」というものはなく、一般の方が施設を利用する際に使用する「普通」のエレベーターでの搬入となり、エレベーターに入らない大道具のパネル類などは、表にある外階段を使って、3階までえっちらおっちら運んでの搬入となるのだが、これがなかなか大変。

何せ高さ270センチ、幅300センチくらいあるでかいパネルを何枚も！だからね。

天気が良いればいいが、雨なんて降っていると最悪の搬入となるし、場合によっては施設を利用する一般の方から迷惑そうな顔をされるので、かなり気を遣う。

この劇場を設計するにあたり、搬入の事は一切考えていなかったのかな？通常、客席数400規模の劇場だと、道具類の搬入口って考えられるのだが…客席が立派なだけに非常に残念ではある。

と！そんな事を言っても始まらない。老体に鞭打って、パネルや道具類をガンガンと劇場内に運び入れると、舞台面ですすでに照明機材の吊り込みが行われている、ここからは道具類の建て込みチーム、楽屋周りの準備チーム、受付プー

ス作成チームに分かれ、作業開始する。その昔、私も「ナグリ」や「パール」「尺表示のメジャー」等を腰にぶら下げたガチ袋に入れ、「大道具さん」の一員として作業を行っていたけれど、十数年前からお世話になっている高橋さんが、

舞台監督として仕切ってくれるようになってからは、私がしゃしゃり出る事もなくなっただけで、平野恒雄は、全体を見渡す役割に徹する。

舞台面のみならず音声ガイドの設置、ピアノの設置の指示に小道具の確認、受付周りのチェックや、スタッフさんへのお弁当の手配の確認まで、劇場全体の進行状況をチェックする係となって各セクションを見て回り、あれやこれやで4時間ほど経った頃、舞台面に行けば！素晴らしい！そこで私は椅子やテーブル等の位置や、役者の立ち位置を決める作業を行う。

役者を交えながら演出的に「ここ」って位置を微妙に調整し終えると14時過ぎ。舞台面では照明のシユート作業が始まったので、私は道具類チームと共に昼食タイム。

平日は館内4階にあるレストランが営業しているので、道具類チーム達と共にそちらで昼食！リーズナブルで、とっても美味しい野菜ラーメンを頂き、劇場に戻って照明さんのシユート作業を眺めるのでした。